保護者・地域の皆様へ

令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果について

明和町教育委員会
令和８年１０月

令和８年４月23日に、小学校第６学年及び中学校第３学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童・生徒質問紙調査から見られた本町の児童・生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、小学校では国語・算数の２教科、中学校では国語・数学・英語の３教科で実施されました。明和町立小学校第６学年の児童１９７人と明和町立明和中学校第３学年の生徒１７６人が参加しました。調査結果については、本町では、平均正答率を小学校国語で上回り、算数ではわずかに上回りました。中学校では国語、数学、英語ともにわずかに下回る結果となりました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【小学校　国語】　　〔 〕内の記号は、問題番号

<おおむね理解している問題>

☆相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる問題
〔１一〕（正答率：約８割）

☆学年別漢字配当表に示されている漢字を分の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題　〔２三ア〕（正答率：約８割）

☆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題　〔３二（２）〕（正答率：約８割）

<課題がみられた問題>

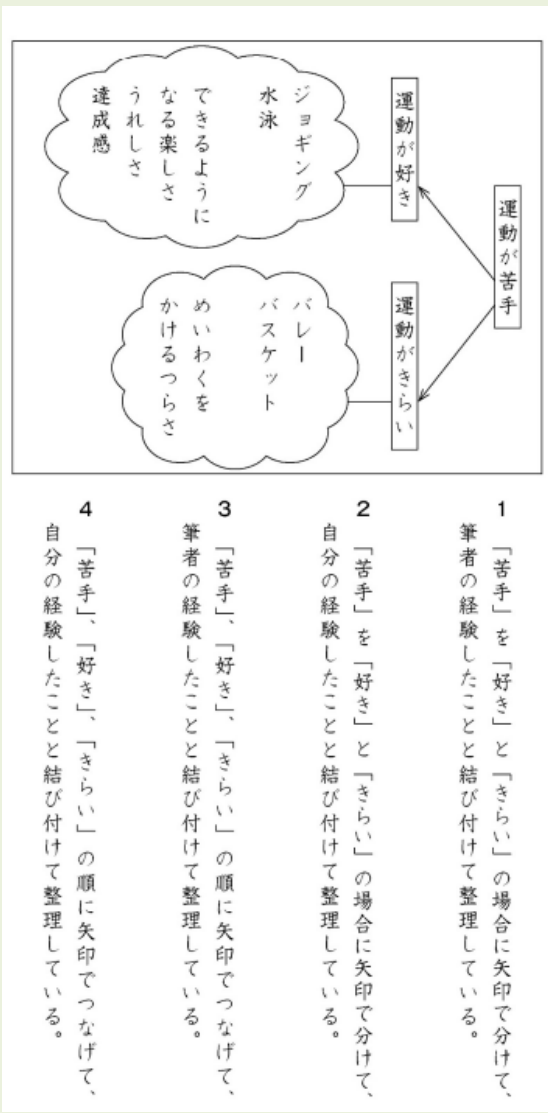
★引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題　〔２四 〕（正答率：約３割）

★情報と情報との関係付けの仕方,図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題〔３二〕（正答率：約5割）

課題がみられた問題

大問３二

林さんは、【文章】を読んで、筆者の考えを理解するために――部①②③について【林さんのメモ】のように整理した。林さんはどのように整理したか。その説明として最も適切なものを選ぶ。



二　林さんは、【文章】を読んで、筆者の考えを理解するために、――部①、②、③について【林さんのメモ】のように整理しました。林さんはどのように整理しましたか。その説明として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　「苦手」を「好き」と「きらい」の場合に矢印で分けて、筆者の経験したことと結び付けて整理している。

2　「苦手」を「好き」と「きらい」の場合に矢印で分けて、自分の経験したことと結び付けて整理している。

3　「苦手」、「好き」、「きらい」の順に矢印でつなげて、筆者の経験したことと結び付けて整理している。

4　「苦手」、「好き」、「きらい」の順に矢印でつなげて、自分の経験したことと結び付けて整理している。

○ １と解答しているもの	**５２．８％（正解）**
○ ２と解答しているもの	**２５．９％**
○ ３と解答しているもの	**１０．２％**
○ ４と解答しているもの	**１０．７％**
○それ以外の解答	**０．０％**
○ 無回答	**０．５％**

誤答例の分析と課題

誤答の「２」を選択した児童は、林さんが、「苦手」を「好き」と「きらい」の場合に矢印で分けていると捉えることはできていたが、筆者の経験したことと結び付けて整理していると捉えることができなかったと考えられる。誤答の「３」を選択した児童は、林さんが、筆者の経験したことを結び付けて整理していると捉えることはできていたが、「苦手」を「好き」と「きらい」の場合に矢印で分けていることを捉えることができなかったと考えられる。

<今後の学習の手立て>

「読むこと」の学習などにおいて、文章を理解するために必要だと判断した複数の語句を丸や四角で囲んだり、関係する語句と語句とを線でつないだりするなど、目的に応じて、図示しながら情報を整理することが効果的です。

その際には、【林さんのメモ】のようにノートにまとめたり、【文章】に直接書き込んだりするなど、学習の方法や進め方を目的に応じて、児童自らが選択できるようにすることが大切です。

【小学校　算数】　　〔 〕内の記号は、問題番号

<おおむね理解している問題>

☆小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる問題
〔3（1）〕（正答率：約9割）

☆示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる問題　〔4（2）〕（正答率：約8割）

<課題がみられた問題>

★体積の意味について理解しているかどうかをみる問題　〔1（3）〕（正答率：約3割）

★二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる問題　〔4（3）〕（正答率：約2割）

課題がみられた問題

大問1(3)　体積の意味について理解しているかどうかをみる。

(3)　1 cm^3 の立方体が 36 個あります。36 個をすべて使って、高さが 4 cm の直方体を 1 つ作りました。
その直方体の体積は何 cm^3 ですか。
答えを書きましょう。

① **３６と解答しているもの**・・・・・・・・・・・・・**３５．５%（正解）**
② １４４と解答しているもの・・・・・・・・・・・・**２４．９%**
③ ９と解答しているもの・・・・・・・・・・・・・・**１６．８%**
④ ４と解答しているもの・・・・・・・・・・・・・・**１．０%**
⑤ 36,144,4 以外で４の倍数を解答しているもの・・・**１２．７%**
⑥ 上記以外の回答・・・・・・・・・・・・・・・・・**４．６%**
⑦ 無解答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**４．６%**

誤答例の分析と課題

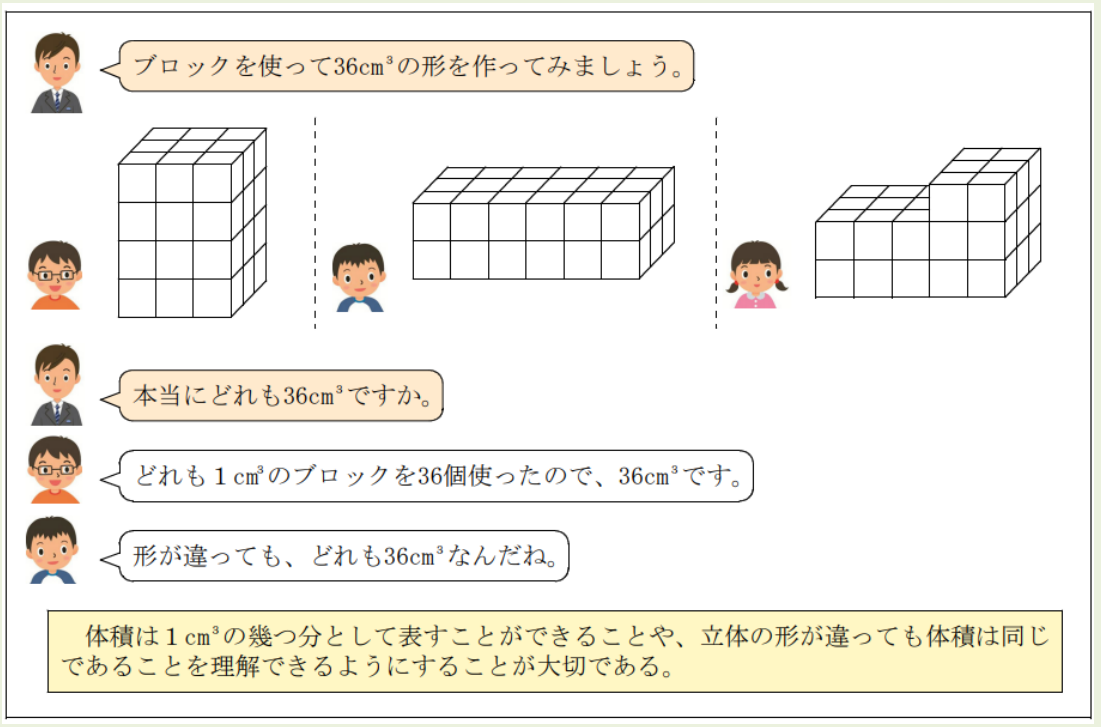
解答類型２、３、５の反応率の合計は54.4%である。このように解答した児童は、立方体の個数の 36 や高さの数である４を使った計算の答えなどを体積としていると考えられる。体積は単位体積の立方体の幾つ分で表すことができることの理解に課題があると考えられる。

<今後の学習の手立て>

単位や測定の意味を基に、立体の体積の意味を理解できるようにする

○ 単位や測定の意味を基に、立体の体積の意味を理解できるようにすることが重要です。指導に当たっては、例えば、ブロックなどの具体物を用いて直方体や立方体の体積を比較する活動が考えられます。その際、体積も面積などと同じように、単位の大きさを決めるとその幾つ分として数値化して捉えることができることを理解できるようにすることが大切です。

○ また、例えば、右のように、1 ㎤の立方体を使って 36 ㎤になる立体を作る活動が考えられます。その際、1 ㎤の立方体を 36 個使えばよいことや、立体の形が違っても体積は同じであることを理解できるようにすることが大切です。



【中学校　国語】　　〔 〕内の記号は、問題番号

<おおむね理解している問題>

☆助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる問題　〔 1一 〕（正答率：約８割）

☆表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる問題　〔 3二 〕（正答率：約９割）

<課題がみられた問題>

★表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、良い点や改善点を見出すことができるかどうかをみる問題　〔 3四 〕（正答率：約４割）

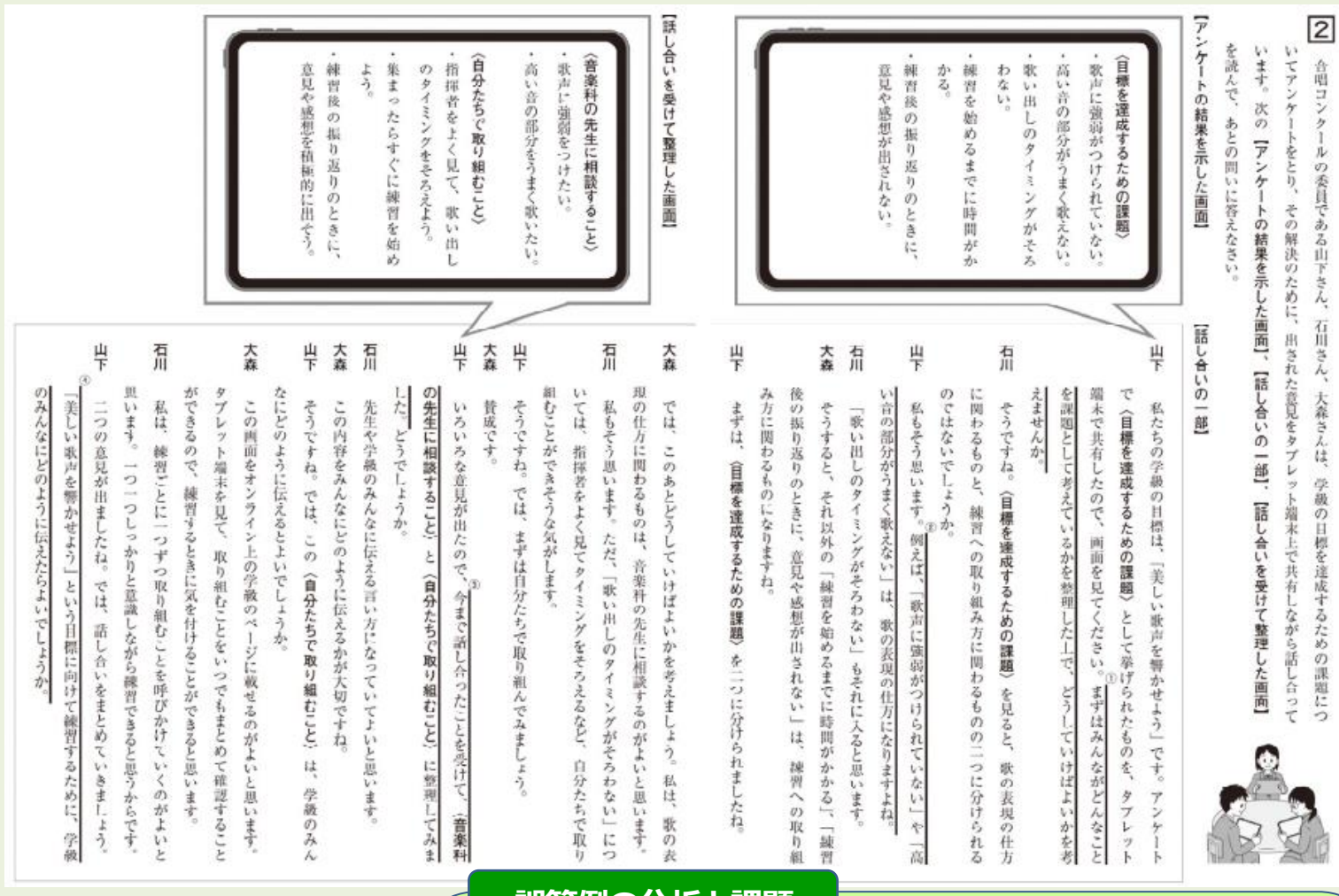
★文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる問題　〔 4四 〕（正答率：約３割）

課題がみられた問題

大問２一　発言について説明したものとして適切なものを選択する。

一　【話し合いの一部】の――線部①「まずはみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。」という発言について説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

1　これから話し合う内容と手順を明確にしようとしている。
2　話し合う話題を広げて様々な意見を集めようとしている。
3　話し合いの前に行った情報の収集の仕方を振り返ろうとしている。
4　これまでの話し合いで出された意見から重要なものを選ぼうとしている。



2　合唱コンクールの委員である山下さん、石川さん、大森さんは、学級の目標を達成するための課題についてアンケートをとり、その解決のために、出された意見をタブレット端末上で共有しながら話し合っています。次の【アンケートの結果を示した画面】、【話し合いの一部】、【話し合いを受けて整理した画面】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【アンケートの結果を示した画面】

〈目標を達成するための課題〉
・歌声に強弱がつけられていない。
・高い音の部分がうまく歌えない。
・歌い出しのタイミングがそろわない。
・練習を始めるまでに時間がかかる。
・練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない。

【話し合いを受けて整理した画面】

〈音楽科の先生に相談すること〉
・歌声に強弱をつけたい。
・高い音の部分をうまく歌いたい。

〈自分たちで取り組むこと〉
・指揮者をよく見て、歌い出しのタイミングをそろえよう。
・集まったらすぐに練習を始めよう。
・練習後の振り返りのときに、意見や感想を積極的に出そう。

【話し合いの一部】

山下　私たちの学級の目標は、「美しい歌声を響かせよう」です。アンケートで〈目標を達成するための課題〉として挙げられたものを、タブレット端末で共有したので、画面を見てください。①まずはみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。

石川　そうですね。〈目標を達成するための課題〉を見ると、歌の表現の仕方に関わるものと、練習への取り組み方に関わるものの二つに分けられるのではないでしょうか。

山下　私もそう思います。②例えば、「歌声に強弱がつけられていない」や「高い音の部分がうまく歌えない」は、歌の表現の仕方になりますよね。

石川　「歌い出しのタイミングがそろわない」もそれに入ると思います。

大森　そうすると、それ以外の「練習を始めるまでに時間がかかる」、「練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない」は、練習への取り組み方に関わるものになりますね。

山下　まずは、〈目標を達成するための課題〉を二つに分けられましたね。

大森　では、このあとどうしていけばよいかを考えましょう。私は、歌の表現の仕方に関わるものは、音楽科の先生に相談するのがよいと思います。

石川　私もそう思います。ただ、「歌い出しのタイミングがそろわない」については、指揮者をよく見てタイミングをそろえるなど、自分たちで取り組むことができそうな気がします。

山下　そうですね。では、まずは自分たちで取り組んでみましょう。

大森　賛成です。

山下　いろいろな意見が出たので、③今まで話し合ったことを受けて、〈音楽科の先生に相談すること〉と〈自分たちで取り組むこと〉に整理してみました。どうでしょうか。

石川　先生や学級のみんなに伝える言い方になっていてよいと思います。

大森　この内容をみんなにどのように伝えるかが大切ですね。

山下　そうですね。では、この〈自分たちで取り組むこと〉は、学級のみんなにどのように伝えるとよいでしょうか。

大森　この画面をオンライン上の学級のページに載せるのがよいと思います。タブレット端末を見て、取り組むことをいつでもまとめて確認することができるので、練習するときに気を付けることができると思います。

石川　私は、練習ごとに一つずつ取り組むことを呼びかけていくのがよいと思います。一つ一つしっかりと意識しながら練習できると思うからです。

山下　二つの意見が出ましたね。では、話し合いをまとめていきましょう。④「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えたらよいでしょうか。

〈正答の条件〉

① **１と解答しているもの**・・・・・
・・・**６０．８%**（正解）
② ２と解答しているもの・・**１４．８%**
③ ３と解答しているもの・・・**５．１%**
④ ４と解答しているもの・・**１８．８%**
⑤ 上記以外の回答・・・・・・**０．６%**
⑥ 無解答・・・・・・・・・・**０．０%**

誤答例の分析と課題

○正答率は６割あるものの、全国平均と比べて-7.7 ポイント下回っている。

○解答類型２～４の反応率の合計は 38.7%である。このように解答した生徒は、目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することに課題がある。

○解答類型２の生徒は、この場面が話し合いにおける導入の段階であることに着目し、山下さんは様々な課題や話し合う方法を集めようとしていると誤って捉えたものと考えられる。

○解答類型４の生徒は、〈目標を達成するための課題〉について整理することは理解できているが、山下さんは課題を整理する際に重要なものを選ぼうとしていると誤って捉えたものと考えられる。

<今後の学習の手立て>　**目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する**

目的や場面に応じるとは、何のために、誰を対象に、どのような状況で話したり聞いたり話し合ったりするのかを具体的に考え、設定した話題や検討した内容が、それらに合っているかどうかを判断することです。

集めた材料を整理するとは、集めた材料を観点に沿って比較、分類、関係付けなどをすることです。自分自身が直接体験したことだけでなく、人との交流を通して集めた身近な人々の体験や知識などを、伝え合うための材料とすることも想定しています。集めた材料が、話したり聞いたり話し合ったりする目的に合っているかを確認しながら、伝え合う内容を検討することが重要です。

例えば、委員会活動や係活動など、学校生活において日常的に行われている様々な場面を取り上げ、その課題の解決に向けて話し合う内容を検討する学習活動が考えられます。話し合いに当たっては、話し合う目的を確認し、何について話し合うのか、どのような手順で話し合うのかを確認することが大切です。その際、話合いの目的や進め方などを共有しやすくするために、少人数での話合いを設定することが有効です。

【中学校　数学】　　〔 〕内の記号は、問題番号

＜おおむね理解している問題＞

☆具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる問題　〔1（1）〕（正答率：約９割）

☆箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる問題　〔9（2）〕（正答率：約８割）

＜課題がみられた問題＞

★総合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題　〔6（3）〕（正答率：約４割）

★データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる問題。

〔9（3）〕（正答率：約３割）

課題がみられた問題

大問６（３）　手順にしたがってできたＡとＢについて、Ａ－Ｂの値がどんな数になるかを、選んだ２数の差に着目して「○○は、△△になる。」という形で説明する。

6　次の**手順**で、２つの３けたの自然数をつくります。

手順

① １から９までの自然数の中から異なる２つの数を選ぶ。それを「選んだ２数」と呼ぶ。（例：１と２）

② 選んだ２数の大きい方を百の位と一の位とし、小さい方を十の位としてできた３けたの自然数をＡとする。（例：212）

③ 選んだ２数の小さい方を百の位と一の位とし、大きい方を十の位としてできた３けたの自然数をＢとする。（例：121）

陸斗さんと夏帆さんは、上の**手順**にしたがってできたＡとＢについて、Ａ＋Ｂの値がどんな数になるかを調べました。

選んだ２数が１と２のとき、Ａは212、Ｂは121となり、
Ａ＋Ｂ＝212＋121＝333＝111×3＝111×(1＋2)

選んだ２数が３と５のとき、Ａは535、Ｂは353となり、
Ａ＋Ｂ＝535＋353＝888＝111×8＝111×(3＋5)

選んだ２数が２と７のとき、Ａは727、Ｂは272となり、
Ａ＋Ｂ＝727＋272＝999＝111×9＝111×(2＋7)

これらの結果から、陸斗さんは次のように予想しました。

陸斗さんの予想

手順にしたがってできたＡとＢについて、
Ａ＋Ｂの値は、選んだ２数の和の111倍になる。

（3）７ページの**陸斗さんの予想**がいつでも成り立つことを文字を用いて説明した陸斗さんと夏帆さんは、次に、**手順**にしたがってできたＡとＢについて、Ａ－Ｂの値がどんな数になるかを考えることにしました。

選んだ２数が１と３のとき、Ａ－Ｂ＝313－131＝182
選んだ２数が４と７のとき、Ａ－Ｂ＝747－474＝273
選んだ２数が５と９のとき、Ａ－Ｂ＝959－595＝364

二人は、Ａ－Ｂの値について話し合っています。

夏帆さん「182、273、364は、どんな数なのかな。」
陸斗さん「例えば364は、選んだ２数の５と９の差である４と関係があるかもしれないね。」
夏帆さん「選んだ２数の差の何倍かになっていないかな。」

手順にしたがってできたＡとＢについて、Ａ－Ｂの値は、選んだ２数の差に着目すると、どんな数になると予想できますか。７ページの**陸斗さんの予想**のように、下の［　　］に当てはまることがらを「～～は、……になる。」という形で書きなさい。

手順にしたがってできたＡとＢについて、

［　　］

（正答の条件）次の(a)、(b)について記述していること
(a) ○○が、「Ａ－Ｂの値」である。
(b) △△が、「選んだ２数の差の91倍」である。

○ **A-Bの値は、選んだ２数の差の９１倍になると解答しているもの**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・**３７．４%**（正解）
○ ①条件(a)について記述し、成り立たない事柄を記述しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・・**８．５%**
○ 上記以外の解答・・・・・・・・・・・・**２９．７%**
○ 無解答・・・・・・・・・・・・・・・・・**２４．４%**

誤答例の分析と課題

❶選んだ２数の差「Ａ－Ｂ」の値に着目することはできているが、「Ａ＋Ｂ」の値について考察した過程と関連付けることができず、□×（選んだ２数の差）の□の値を見いだすことができなかったと考えられる。

また、❶以外では、「Ａ－Ｂの値は、選んだ２数の91倍になる。」という解答も見られた。このように記述した生徒は、「○○は、△△になる。」という形で記述しているが、△△を「選んだ２数の差の91倍」のように的確に表現することができなかったと考えられる。

＜今後の学習の手立て＞　事柄の特徴を捉え、数学的に説明できるようにする

数の性質について、成り立つ事柄を予想し、その特徴を数学的に説明できるように指導することが大切です。

本設問を使って授業を行う際には、「Ａ＋Ｂ」を「Ａ－Ｂ」に変えた場合に成り立つ事柄を予想し、その事柄を数学的に説明する場面を設定することが考えられます。

具体的には、「手順にしたがってできたＡとＢについて、Ａ＋Ｂの値は、選んだ２数の和の１１１倍になる」ことを明らかにした過程を振り返りながら、具体的な数や文字を用いることで、Ａ－Ｂの値は、９１×（選んだ２数の差）となることを見いだすことができるように指導することが考えられます。その上で、「手順にしたがってできたＡとＢについて、Ａ－Ｂの値は、選んだ２数の差の９１倍になる」のように、成り立つと予想される事柄の前提と結論を明確にして、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導することが大切です。

【中学校　英語】　　〔 〕内の記号は、問題番号

<おおむね理解している問題>

☆ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる問題　〔1〕（正答率：約６割）

☆ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる問題　〔１１②〕（正答率：約５割）

<課題がみられた問題>

★社会的な話題について、短い文章を読み、要点をとらえ、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題

〔１０（２）〕（正答率：約３割）

大問 10(2)　インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。

課題がみられた問題

10

中学生のまいこ(Maiko)が英語の授業でインターネットの使用に関する文章を書きました。次の(１)と(２)の問いに答えなさい。

(２) まいこの質問に対する「あなたの考え」と「なぜそう考えるのか」を、英語で書きなさい。【まいこが書いた文章】にある表現を使って書いてもかまいません。

【まいこが書いた文章】

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly.

Do you think my opinion is good?

<解答欄>　※半角で入力してください

Do you think my opinion is good?

あなたの考え

なぜそう考えるのか

（解答の条件）

次の条件を満たして解答している。

条件①書き手の意見に対する自分の考えを書いている。

条件②条件①の理由を書いてある。

1 条件①条件②を満たして解答しているもの　・・・２３．０%（正解）

2 文法事項などに誤りがあるが、条件①条件②を満たして解答しているもの　・・・４．０%（正解）

3 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの　・・２７．６%

4 上記以外の解答・・・・・・・・・　２１．３%

5 無解答と解答しているもの・・・・　２４．１%

誤答例の分析と課題

インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書くという本問では、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がある。他の解答類型と比較すると、誤答の中では解答類型３の反応率が27.6%、無解答の反応率が 24.1%と高い。解答類型３に分類される生徒は、「なぜそう考えるのか」について何らかの英語を書いてはいるが、伝えたい内容が読み手に十分伝わらない誤りがある。このことから、読み手に伝わる表現となるように伝えたい内容を正確に書く力を高めることが重要である。

<今後の学習の手立て>

読んだことを基に、その内容に関する自分の意見や感想などを書く際には、主張とその理由を明らかにしたり、順序付けを行ったりすることにより、読み手にとって分かりやすい文章を書けるようにすることが重要です。そのためには、文章を読んで要点を確認した後、自分の考えをキーワードとしてメモなどに整理させたり、思考ツールに整理させたりすることが考えられます。例えば、書き手の意見に対して賛否をメモに書かせたり、賛成の場合は、理由も同じなのかどうか、反対の場合は、その理由をメモに整理させたりすることが考えられます。メモに整理させても、賛否を示せなかったり、理由が思い浮かばなかったりする場合には、書き手の意見に対して感じたことや考えたことをペアでやり取りさせ、話題に関する理解を深めてからメモに整理させることも考えられます。

質問紙からみられた子どもの姿

子どもたちが肯定的に回答した割合が高かった主な設問

【　小　学　校　】

人の役に立つ人間になりたいと思う。
97.0%
（全国 95.8%）

PC.タブレットなどのICT 機器で文書を作成する（文字・コメント等）ことができる。
82.9%
（全国 78.1%）

授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
92.4%
（全国 91.4%）

いじめはどんな理由があってもいけないことだ。
99.5%
（全国 96.2%）

【　中　学　校　】

人の役に立つ人間になりたいと思う。
95.9%
（全国 95.9%）

PC.タブレットなどのICT 機器で情報を整理する（図、思考ツール等）ことができる。
76.0%
（全国 69.4%）

学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
85.4%
（全国 84.5%）

友だち関係に満足していますか。
92.4%
（全国 91.1%）

子どもたちの課題がみられた設問

土・日曜日など学校が休みの日に、1日どれくらいの時間勉強をしますか。（塾・家庭教師・インターネットを活用した学習も含む）（1 時間以上）
小　28.7%（全国 39.0%）
中　39.2%（全国 52.5%）

普段（月～金）1 日どれくらいの時間スマートフォン等で SNS や動画視聴をしますか。（3 時間以上）（学習やゲームは除く）
小　46.0%（全国 37.6%）
中　60.8%（全国 49.6%）

【明和町の子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を目指して】

明和町では、すべての教育活動を通して子どもたち一人ひとりを「認め、励ます」ことを大切にし、自尊感情を育みながら、誰もが安心して仲間と学び合える環境づくりに取り組んでおります。

子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、個別最適な学びと協働的な学びを組み合わせた授業づくりや、ICT 機器の効果的な活用を進めてまいりました。その結果、自分の考えを相手にわかりやすく伝える力が育つとともに、学習の理解度や安心感が高まっている様子が子どもたちのアンケート等からも伺えます。また、かかわりの力の育成、命の尊さや思いやりの心を育む人権教育や、安全・安心な校内環境の整備にも力を注いでおります。

一方で、小中学生ともにゲームや SNS・動画視聴の時間が増加傾向にあり、家庭学習の時間が圧迫されていることが懸念されています。情報化社会においてデジタル活用は不可欠ですが、健やかな生活習慣や学習習慣を守るためのルールづくりが今、改めて求められています。

学校におきましては、引き続き「家庭学習の手引き」などを活用して充実した学びのサポートを行ってまいります。ご家庭におかれましても、お子様が安心して学習に集中できる環境づくりや前向きな声かけを行っていただくとともに、メディアの利用時間やルールについてぜひご家族で話し合っていただければ幸いです。

子どもたちの「確かな学力」と「豊かな心」は、学校・家庭・地域が手を取り合ってこそ育まれます。今後とも、明和町の未来を担う子どもたちの成長を温かく見守っていただきますようお願いいたします。